

令和06年9月（第3回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 須藤 智子 議員

1 消防職員の大型免許取得への公費負担を

- (1) 一宮市では、大型車の運転免許証を取る際、必要な費用の全額を公費で負担しているが、本市での公費負担は行っているのか。
- (2) 一宮市以外で、公費負担を実施しているところはあるのか。
- (3) 本市では、公費負担の考えはあるのか。
- (4) 公費負担する場合、既に自費で取得した職員との不公平感があり、救済措置については、どのように考えるのか。

2 マニフェストの総括について

- (1) 2期8年間の実績を問う。
 - ① 子育て・教育環境の充実したまちについて
 - ② 健幸で安心して暮らせる安全なまちについて
 - ③ 活気あふれ伸びゆくまちについて
 - ④ 清潔で地球にやさしいまちについて
 - ⑤ 持続可能なまちについて
- (2) 今後の展望について

2 梅村 均 議員

1 本市の狂犬病予防注射の接種状況は十分か

2 健幸増進策のさらなる充実を

- (1) いわくら健幸マイレージ事業は、健幸づくりのきっかけにはなると思うが、作り上げたり、維持する事業としては物足りないのではないか。（マイカ取得の条件が安易ではないか。条件クリアのハードルを上げた事業を加えてはどうか。）
- (2) 歩数計を購入いただくことで有料会員となってもらい、歩数データを管理し、会員同士で競い合うような取組ができないか。有料会員とすることで、健幸づくりへの意識が強まるのではないか。
- (3) 親しみやすい施設に向けて、保健センターを利用した単独の健幸フェア（まつり）を開催できないか。
- (4) 五条川健幸ロードを歩いてもらうための工夫をどう考えているか。
- (5) 五条川健幸ロードのさらなる充実に向け、高石市ウォーキングロードにあるような路面サインを増やせないか。（姿勢改善・脳の活性化等に役立つものを）
- (6) 五条川健幸ロードの今後の展望はあるか。

- 3 国民健康保険における滞納の現状は。また、納付忘れが発生した場合の対応状況は十分か（コールセンターを設置して対応している自治体もあるが）

3 鬼頭 博和 議員

- 1 単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換補助金の拡充について
 - (1) 現在の単独処理浄化槽及び合併処理浄化槽の設置状況と、汚水処理人口普及率は。
 - (2) 単独処理浄化槽と合併処理浄化槽の生活雑排水の処理能力差は。
 - (3) 一般的な合併処理浄化槽への転換費用と、それに対する市の補助要件、補助金額、昨年の補助事業の実績は。
 - (4) 単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併浄化槽への転換を促進するための啓発活動を。
 - (5) 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換するとき、撤去費用及び宅内配管工事費も補助対象としている近隣市町の実施状況は。
 - (6) 本市でも個人負担を軽減するため、合併処理浄化槽への転換時に撤去費用及び宅内配管工事費を補助対象にできないか。
- 2 災害対応力の強化について
 - (1) 災害ケースマネジメントの実施に向けた取組を。
 - (2) 災害時要援護者の個別避難計画の作成状況は。
 - (3) 避難情報の発信や避難所運営において高齢者や外国人に配慮した対策は。
 - (4) 障がいのある方が避難する際、福祉避難所への直行を可能とできないか。
 - (5) 大規模地震の発災時に活用できる防災井戸の整備は。
 - (6) 女性目線での災害対策の推進を。
 - (7) 仮設住宅の円滑な供給に向け、事業者との災害協定に向けた取組を。
 - (8) 大規模災害の発災後、各方面からの支援に対する受援体制の推進を。
 - (9) 台風や豪雨災害への対策強化として自治体タイムライン（防災行動計画）の作成は。
 - (10) 家具の固定や感震ブレーカーの設置促進に向けた取組は。

4 伊藤 隆信 議員

- 1 環境問題について
 - (1) 岩倉市清潔で美しいまちづくり条例が制定された状況、理由を問う。
 - (2) 条例に違反した場合、勧告書、命令書等の規則があるが、今日までの状況を問う。
 - (3) 現在、条例に違反している場所が多いと思うが、対策を問う。
 - (4) 本市の循環型社会の取組を問う。
 - (5) ごみ出し、集積場所等の市民の意識啓発、環境教育の推進を問う。

- (6) 外国人のごみ出しルール の現状と在留する外国人の人数と国別の状況を問う。
- (7) ごみ集積場所のカラス対策、電柱や街路樹等のカラスの巣対策を問う。

2 デジタル化の現状とSNSを通じての被害について

- (1) 小・中学生のスマホ所持の現状とインターネット上での誹謗中傷により、いじめ、不登校、SNSの利用がきっかけで犯罪に巻き込まれたケースの現状と対策を問う。
- (2) デジタル化が進行する中、スマホ等を所持しない人もいると思うが、利用する人との情報格差が起きていないか。
- (3) オレオレ詐欺、預貯金詐欺、キャッシュカード詐欺等の特殊詐欺の現状と本市の被害状況を問う。
- (4) SNS型ロマンス詐欺の現状と対策を問う。
- (5) SNS型投資詐欺の現状と対策を問う。
- (6) SNS型詐欺、特殊詐欺が今後増加し、市民の被害を心配するが、被害に遭った場合、本市の対処を問う。

3 農業について

- (1) 日本の食料自給率が減少しているが、これでいいのか。
- (2) 米の自給率は100%だが、今、米が不足していると報道されているが、米の値上げを心配するが、この現状と対策を問う。
- (3) 米不足、猛暑で野菜の出荷等の減少で、地産地消の学校給食の影響を問う。
- (4) 農業人口が現在の116万人から20年後には7割以上減少して30万人になると予測されるが、本市の現状を問う。
- (5) 本市の面積の3割くらいが農地で占めているが、実際にその農地を耕作している面積の状況は。
- (6) 荒れた農地の現状面積と耕作放棄地と遊休農地の違いを問う。
- (7) 高齢化や担い手不足など、将来に課題を抱える本市の農業の未来像を問う。
- (8) 農地の流動化促進のため活用拡大の今後を問う。一般市民の方に農地譲渡はできないか。

4 安心して飲める水について

- (1) PFASとは。日本の基準、世界の基準、WHOの基準はどうして違うのか。
- (2) 水は命の源である。安心して良質な水道水の取組を問う。

5 井上 真砂美 議員

1 2学期の始業に当たって、学校の現状について問う

- (1) 毎年夏休み後に9月病などの症状が児童・生徒の中に一定数見られる。学校では、メンタル面の指導をどのように行っているか。
- (2) 夏休み中の課題等を教員が点検する時間は確保されているのか。教員の負担の状況などを含め現状をお聞きしたい。

2 新学習指導要領と子どもの学習の変化について

- (1) 新学習指導要領を基準に主体的、対話的で深い学びが求められている。コロナ禍を経て、子どものそれぞれの成長に合わせて、さらに地域の特色を生かしてどのように指導方法が変容しているのか。また、市内でそのような取組事例などはあるか。
- (2) このような取組の変化に対して、保護者への理解・周知はどのように行っているのか。

3 子どもの学ぶ機会や体験・経験の提供について

- (1) 長期休業中や土・日において、さまざまな教室が開かれている。しかし、参加人数が限られていたり、保護者の引率等の条件等があったりして、学びや体験活動等に格差が生じている。どう捉えているのか。
- (2) より多くの子どもに学ぶ機会や体験・経験を提供したい。多様性を求める子どもの学びに対して、地域の人材を集めた教室を計画してもよいのではないか。
- (3) 学校の図書館や工作室、裁縫室をコミュニティや地域に開放して、教室を利用した学びや体験学習を実施してはいかがか。

4 熱中症対策について

- (1) 「いわくら涼みどころ（クーリングシェルター）」について、協力団体の募集はどう行ったか。
- (2) 環境省と文部科学省の「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」より、熱中症対策の普及啓発に取り組む民間団体等を普及団体として指定できるととされたが、この取組はどう行ったか。
- (3) 児童・生徒の下校時において、「熱中症警戒アラート発表時」はどのように対処するのか。
- (4) 遊具の安全点検、特に暑い時期の遊具の安全点検はどのように行われているのか。

5 市役所で実施の「来庁者の避難誘導を含めた総合的な不測事態対処訓練」について

- (1) さすまたや防護盾の係、連絡係などの不測事態の役割分担について、さまざまなケースを想定してどのように備えているのか。
- (2) 緊急時に大声を出す訓練はできているか。
- (3) 非常事態を共有する意味で、緊急時の火災報知器を利用するのはいかがか。
- (4) 次回の訓練の予定はあるのか。

6 五条川小学校区統合保育園予定地の状況について

- (1) 「埋蔵文化財」の発掘状況はどうなっているのか。
- (2) 説明会の予定はいかがか。

6 大野 慎治 議員

1 育児休暇について問う

- (1) 男性職員の育児休暇の取得率は。

- (2) 育児休暇取得率が向上することによる課題は。
- (3) 代替職員確保のため、職員の増員または育児休業任期付代替職員を採用するべきではないか。

2 孫休暇制度の導入について問う

- (1) 現状について
- (2) 孫休暇制度を導入するべきでないか。

3 認知症の患者の増加について問う

- (1) 現状について問う。
- (2) 本市における認知症推計有病者数は。
- (3) 認知症による成年後見人制度の利用者数は。
- (4) 認知症による成年後見人制度の市長申立て件数の推移は。
- (5) 専門職の成年後見人の確保が難しくなる現状において、市民後見人に期待することは。

4 高齢者への補聴器購入費助成制度の創設を求めて問う

- (1) 健康長寿社会の実現に向けて、難聴高齢者への補聴器購入費の助成制度を創設するべきではないか。

5 都市計画道路萩原多気線の進捗状況は

- (1) 岩倉市内の事業中（建設中）の完成時期は。
- (2) 今後の市道北島伝法寺線から県道浅井清須線までの約1.4キロメートルの事業の見通しは。

6 都市計画道路桜通線の完成時期は

- (1) 現状、令和8年度完成予定であるが、完成時期は遅れる見込みではないか。

7 木村 冬樹 議員

1 自衛隊の動きにどう対応していくのか

- (1) 県営名古屋空港への自衛隊機の緊急着陸が相次いでいるが、本市としても抗議すべきではないか。
- (2) 自衛官募集事務重点市町村の指定に対してどう対応していくのか。
- (3) 自衛官募集のための個人情報提供の除外申出を随時受付にすべきではないか。

2 ふるさと納税の見直しを求めるべきではないか

- (1) 昨年度のふるさとといわくら応援寄附金事業における寄附と税の収支状況はどうか。
- (2) 本市における企業版ふるさと納税の状況はどうか。
- (3) 企業から寄附を受ける際の留意点をどう考えているか。

(4) ふるさと納税の問題点は共通認識になっていると考えるが、国に見直しを求めていくべきではないか。

3 国民健康保険は持続可能な制度と言えるか

- (1) 今年度の国保税の値上げの影響をどう見ているか。
- (2) 支援金という形で国保税の実質的な負担軽減が図れないか。
- (3) 保険証廃止に伴う資格確認書の周知や滞納世帯への対応はどうなっているか。
- (4) 国民健康保険が持続可能な制度となるよう国に意見していくべきではないか。

4 PFAS問題にどう対応していくのか

- (1) 国における暫定目標値の見直しの議論をどう見ているか。
- (2) 市内の水源における今後の検査の在り方をどう考えているのか。
- (3) 一定規模の地域住民の血中濃度の測定も必要ではないか。
- (4) 公害の歴史を振り返り、国・県に責任ある対応を求めていくべきではないか。

8 塚崎 海緒 議員

1 消防職員委員会について問う

- (1) 消防職員委員会の重要性について市の見解は。
- (2) 委員会議事録が不存在だが、どのように公正性及び透明性の確保に努めているか。
- (3) 審議対象外の意見について、どのように判断し、消防職員にどのように説明しているのか。
- (4) 大型免許取得費用補助と機関員事故リスクに対する補償を求める意見が多いが、対応する考えは。
- (5) 大交代前に出勤したケースにおいて、時間外勤務手当が未払いとなっている意見があるが、改善する考えは。
- (6) 服装に関する意見が多いが、酷暑で救急搬送が増えている中、隊員の体調を維持するため、どのような熱中症予防対策で安全配慮義務を果たしているか。
- (7) ハラスメント対応の意見が繰り返し出ているが、署員の意見に沿った形で実施していくのか。

2 市民体育祭について問う

- (1) 早急にリレー種目のルール変更が必要ではないか。
- (2) 参加しやすく、楽しく、持続可能な誰もが楽しめるスポーツイベントへ移行を。

3 議会事務局人事について問う

- (1) 岩倉市議会事務局人事体制について
- (2) 部長級でない職員を事務局長として配置している県内の市、類似団体はあるのか。
- (3) 岩倉市議会の事務局長が課長級である理由は何か。
- (4) 二元代表制実現のために対等な職員人事を求める。

9 日比野 走 議員

1 水道事業について

- (1) 神野町内の水道管修繕の今後の見通しを改めて問う。
- (2) 今後こういった事態を防止するための措置はなされるのか。
- (3) 豊田市のような水道DXを推進しては。

2 エックスの開設を

- (1) インスタグラムやフェイスブックは開設されているが、この二つを開設することになったきっかけは。
- (2) これを機にエックスにも公式アカウントを開設しては。

3 エアコンの設定温度について

- (1) 28度未満でもよいのでは。

4 いじめ問題について

- (1) 前年度及び今年度に入ってから学校内でのいじめは確認されているか。
- (2) 本市で確認されたいじめにはどういった傾向があるか。
- (3) 本市ではどのようないじめ対策がなされているか。
- (4) 寝屋川市のようなチラシ配布による、いじめ事前防止活動を。

10 水野 忠三 議員

1 災害時のヘリ活用等について問う

- (1) 陸路などが寸断された能登半島地震の教訓について、認識及び見解は。
- (2) ヘリコプターの輸送力や機動力等について、認識は。また、いわゆるオスプレイ（V-22 オスプレイ）などの垂直離着陸機能を有する航空機等についてはどうか。
- (3) 「国も自治体に地域防災計画等の中でヘリの積極活用を盛り込むよう求めていく」と認識しているが、見解及び今後の方針は。
- (4) 本市における離着陸施設の整備やヘリを所有する民間企業等との連携などについて、現状は。
- (5) 災害時にヘリが離着陸可能な場所について、本市内の現状は。また、本市内のすべての小中学校の運動場等も、災害時に通常のヘリコプターに加えてオスプレイ（V-22 オスプレイ）などの垂直離着陸機能を有する航空機等も利用できるような整備すべきと考えるが、見解は。
- (6) 災害時にヘリコプターやオスプレイなどの自衛隊機が円滑に活動できるように、日頃から自衛隊側と良好な意思疎通などを図っていくべきと考えるが、見解は。また、広報などを通じて、市民へさらなる理解等を求める取組等も必要と考えるが、見解は。

(7) 今後の本市の防災対策・災害対応等に対する決意を問う。

2 プレコンセプションケアについて問う

(1) 将来の妊娠に向け健康管理等に取り組む「プレコンセプションケア」について、認識は。

(2) プレコンセプションケアの重要性について、市民に十分な認知がされているか。

(3) プレコンセプションケアに関連して、市民の健康管理や生活習慣の改善に対する支援体制は整っているか。

(4) 将来の妊娠に向けて取り組む市民の経済的負担を軽減することは少子化対策としても有効と考えるが、見解は。また、本市の対策や取組等について、現状は。

(5) 市民が忙しい生活の中で、どのようにしてプレコンセプションケアのための時間を確保するのか、という点に関して、本市として支援できることは。

(6) 本市内の医療機関等がプレコンセプションケアの提供を十分に行っているかについて、認識及び見解は。また、妊娠前の健康リスク等について、適切な情報提供などがされているかについてはどうか。

(7) 本市の今後のプレコンセプションケアに関する方針及び取組等について問う。

3 本市内の除草、樹木の枝の剪定等について問う

(1) 本市内の除草、樹木の枝の剪定等について、現状認識及び本市の基本的方針は。

(2) 本市内の五条川の両岸について、現状及び課題等は。

(3) 本市内の主要な道路や通学路等について、現状及び課題等は。

(4) 本市内の公園やその他の公共施設等の敷地内及び周辺等について、現状及び課題等は。

(5) 将来に向けての今後の本市の取組等は。

4 2025年開催の大阪・関西万博に関連して改めて問う

(1) 2025年に開催される大阪・関西万博のテーマ及び概要等について、現時点での認識は。

(2) 大阪・関西万博の内容の中には、本市の将来の行政課題の解決等に役立つものも多く含まれていると考えるが、見解は。

(3) 令和6年度の「いわくら夏まつり市民盆おどり」では、大阪・関西万博2025オフィシャルテーマソング「この地球（ほし）の続きを」も使用されたが、市民からの反応・評判等はどうか。

(4) 上記（3）の「市民盆おどり」のようなものも含めて、今後の本市での大阪・関西万博に関連する取組等は。

(5) 上記（2）に関連して、職務として職員等を大阪・関西万博の視察に派遣すべきと考えるが、見解は。

(6) 将来の技術や新しい知見などの本市の市政等への取り入れについて、見解は。

(7) 一人一人が互いの多様性を認め、「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するための本市の今後の方針を問う。

11 谷平 敬子 議員

- 1 こども・若者支援について
 - (1) こども基本法の意義についての見解は。
 - (2) 「こども家庭庁」の創設の背景は。
 - (3) 意見を言いやすい仕組みや環境づくりはどのようなか。
 - (4) イベント等において、ファシリテーター（進行役）の活用はどのようなか。
- 2 公共施設へのEV充電器設置について
 - (1) 設置に至った経緯は。
 - (2) 設置箇所の増設についてはどのようなか。
 - (3) EV充電器の運用はどのようなか。
 - (4) 利用者の見込みはどれほどか。
- 3 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者に対する受診勧奨について
 - (1) 慢性閉塞性肺疾患の主な原因と症状は、どのようなか。
 - (2) 受診勧奨を求む。

12 片岡 健一郎 議員

- 1 長期休暇中の放課後児童クラブの運営状況について問う
 - (1) 長期休暇中の各放課後児童クラブの利用状況はどうか。
 - (2) 定員に対して多くの申込みがあった場合の対応は。
 - (3) 昼食は各家庭から弁当を持参しているが食中毒の心配がある。持参した弁当の保管状況はどのようなか。
 - (4) 市内事業者等の協力を得て、希望者へ弁当の配達をして弁当持参の負担軽減及び食中毒のリスク低減を図る取組を検討してはどうか。
- 2 災害等避難時のペット対応はどのような想定をしているか
 - (1) 避難所でのペット対応はどのような対応を想定しているのか。
 - (2) ペット専用の避難所を開設する必要性について当局の見解を問う。
 - (3) 岩倉市としてペット用品の備蓄への見解はどうか。
- 3 救命講習会の状況について問う
 - (1) 救命講習を受講してからおおむね3年ほどで再受講を推奨している。岩倉市から再受講の勧奨はどのように実施されているか。
 - (2) 救命講習の再受講率はどのようなか。
 - (3) 小学校・中学校での救命講習会の開催状況はどうか。
- 4 岩倉市内AED配備について

- (1) 市内公共施設に設置済みのAEDで外部に設置していない箇所の今後の対応について問う。
- (2) 病院、事業所などに設置されており市民の利用にご協力いただけるAEDについては市で設置場所の情報としてまとめて、周知してはどうか。
- (3) AEDの貸出について状況を問う。
- (4) 貸出について広く周知してはどうか。
- (5) AED運搬支援システム「AED GO」を活用してはどうか。

13 堀江 珠恵 議員

1 環境と調和に配慮した農業の取組について

- (1) みどりの食料システム法に基づく、愛知県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画を県と市町村が共同して策定とあるが現状は。
- (2) 今後計画を策定はしていくのか。またはどのような取組を考えているのか。
- (3) 新規及び現在の農業就労者への発掘・育成への支援体制は。

2 安全で環境を守るための太陽光発電の設置について

- (1) 今まで住宅用太陽光発電システム設置費用の補助金を利用して設置した件数は。
- (2) 災害時などで太陽光パネルから火災した場合の消火方法は。住民が注意すべき点は。
- (3) 破損した太陽光パネルの廃棄場所・方法は。関係機関との連携は取れているのか。
- (4) 太陽光パネルが破損した場合への対処について住民に注意喚起すべきでは。

3 教科書選定方法について

- (1) 教科書選定の手順はどのようなか。
- (2) 教科用図書採択地区協議会の構成員はどのような基準で選ばれているのか。
- (3) 採択された教科書はどのような基準で選ばれているのか。民意は反映されているのか。
- (4) 教科用図書採択地区協議会の議事録・選定資料・選定理由が公開されていないが今後の予定は。
- (5) 歴史教科書を選択する上で何が一番大切か教育長に問う。

14 榎谷 規子 議員

1 健康保険証「廃止」の手紙をめぐって

- (1) 市民の不安の声・心配の声など、どう市に届いているか。
- (2) 「12月2日から発行されなくなる」が、（マイナンバーカードがなくても）申請することなく、「資格確認書」が手元に届くこと、引き続き医療を受けることができることを周知し、市民の不安を取り除く対応を。

- 2 障害者大量解雇の報道を受けて
 - (1) 市内の状況はどうか。
 - (2) 全ての障害者が安心して働ける場に。

- 3 誰もが気持ちよく使える学校体育館に
 - (1) 掃除用具の維持管理はどうしているのか。
 - (2) 生涯学習課も関わって、掃除用具の整備を。

- 4 農業基本法の改正は危機打開にふさわしい改正になったのか
 - (1) 食料自給率向上を放棄したのではないか。
 - (2) 新規就農者を支援し、地産地消のさらなる推進を。
 - (3) 市長の考えを問う。

- 5 安心安全な学校給食・保育園給食を
 - (1) 国産の肉は、いつから、どうして使用できなくなったのか。
 - (2) 価格高騰分は補助できないのか。
 - (3) 市長の考えを問う。